

日野市 定例記者会見

令和2年11月20日 午前10時から
市役所5階505会議室





令和2年第4回日野市議会定例会提出 補正予算(案)について

問い合わせ先 財政課



令和2年第4回日野市議会定例会提出補正予算(案)について

1 各会計の補正状況 (1) 補正予算額

(単位:千円)

会 計 区 分	補正前	今回補正	補正後
一般会計(11号～13号)	91,393,680	235,392	91,629,072
国民健康保険特別会計	15,958,545	3,446	15,961,991
土地区画整理事業特別会計	3,131,499	7,940	3,139,439
介護保険特別会計	14,462,365	19,549	14,481,914
後期高齢者医療特別会計	4,522,156	337	4,522,493
市立病院事業会計	10,419,304	154,120	10,573,424
下水道事業会計	6,922,497	0	6,922,497
合 計	146,810,046	420,784	147,230,830

令和2年第4回日野市議会定例会提出補正予算(案)について

1 各会計の補正状況 (2) 主な補正内容

会 計 区 分	主な内容
一般会計	①新型コロナウイルス感染症対策 ・ 児童育成手当受給世帯への臨時特別給付金の支給 ・ 高齢者施設等における積極的なPCR検査の実施 ・ 道路情報WEB公開システムの構築 ・ コロナ禍における避難所対応 ほか ②その他 ・ 多胎児家庭への子ども商品券の配布 ・ 認知症検診推進事業の準備 ほか
国民健康保険特別会計	・ マイナンバーカードの健康保険証利用に向けたシステム改修
土地区画整理事業特別会計	・ 換地図情報のインターネット配信及び時間外勤務手当の増額 ほか
介護保険特別会計	・ 保険料還付金及び法改正に伴うシステム改修 ほか
後期高齢者医療特別会計	・ 法改正に伴うシステム改修
市立病院事業会計	・ 都新型コロナウイルス感染症医療提供体制緊急整備事業の活用 ・ 有形固定資産の購入(CT撮影装置ほか)
下水道事業会計	・ 今回補正なし



令和2年第4回日野市議会定例会提出補正予算(案)について

1 一般会計補正内容 (1) 歳入予算

(単位:千円)

予算科目	主な内容	今回補正
国庫支出金	介護給付費・訓練等給付費 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 ほか	64,221
都支出金	介護給付費・訓練等給付費 PCR検査等に要する経費補助事業 ほか	79,632
財産収入	土地売払収入	4,938
寄附金	指定寄附金(感染症対策・福祉・教育) 一般寄附金(ふるさと納税)	1,947
繰入金	財政調整基金繰入金、学校施設整備基金繰入金 ほか	84,654
合 計		235,392

令和2年第4回日野市議会定例会提出補正予算(案)について

1 一般会計補正内容 (2) 歳出予算

(単位:千円)

予算科目			コロナ 対策	
総務	テレワーク環境の整備	国補助金有	○	32,171
民生	児童育成手当受給世帯に対する臨時特別給付金の支給	国補助金有	○	39,681
	認知症検診推進事業の準備	都補助金有		4,730
衛生	高齢者施設等における積極的なPCR検査の実施	都補助金有	○	34,720
	多胎児家庭への子ども商品券の配布	都補助金有		1,169
土木	道路情報WEB公開システムの構築	国補助金有	○	41,000
消防	避難所における混雑状況等の情報発信の対応	国補助金有	○	3,600
その他	民間保育園・私立幼稚園におけるコロナ対策への支援 道路・橋梁等の修繕 ほか	国都補助金有	○	78,321
合 計				235,392

Topics

1.



24時間365日いつでもどこでも
まちづくり地図情報
まちづくり部発信情報の一元化とオンライン化

問い合わせ先 都市計画課



まちづくり部の窓口業務の現状と課題

- まちづくり部の窓口業務の特徴として、来庁者は事業者の割合が多く、また来庁者が必要な情報はまちづくり部の複数課にまたがることが多い。
- 一方、来庁者が必要とする情報は、定型的なものが多い(相手方や職員によって回答すべき内容は変わらない)
- 来庁者から見れば、定型的な内容の確認のために市役所へ赴く必要があること、また来庁者にも市職員にとっても、窓口対応で接触の頻度が高いといったリスクがある。

→コロナ禍において窓口接触頻度が高い

1. 24時間365日いつでもどこでもまちづくり地図情報

ユーザがよく見る、土地利用に関する情報を公開できる環境をつくる

- コロナ禍における窓口接触頻度の50%低減
- 新しい生活様式の実現

一元化 & オンライン化のWEB画面のイメージ



スマホ
からでも



自宅・会社
からでも

取り組みによる効果

→ 来庁者(事業者・市民)にとっての効果

- 利用者の負担の低減・削減(移動時間、滞在時間、移動コストなど)

→ 行政にとっての効果

- 窓口対応する職員の業務負担の低減・削減
- 中長期的に窓口業務に対する人件費の削減

→ 両者にとっての効果

- コロナ禍における窓口接触頻度の低減・削減

Topics

2.



市民要望システムを導入

道路への要望をインターネット上で受け付け

問い合わせ先 道路課



2.市民要望システムを導入

現在の市民要望受付状況



受け付けから出動まで約 **30** 分



2.市民要望システムを導入

市民要望システム

場所を
チェック

状況を
入力・送信

管理者はPC
で確認

現場担当は
タブレットで
確認

出動

異常を
発見

受け付けから出動まで 0 分



市役所PCの
管理画面



Topics

3.



日野市立病院の新型コロナウイルス発熱 外来棟設備充実について

問い合わせ先 市立病院経営企画室

3.市立病院の新型コロナウイルス発熱外来棟設備充実工事について

新型コロナウイルス発熱外来の更なる設備充実を図ります

新型コロナウイルスとの戦いが今後2～3年間の長期化も想定される中、発熱外来を維持継続するため、更なる設備(仮設建築物)の充実を図ります。

→目的

- 冬場のインフルエンザ流行による発熱患者増の対応、長期化が見込まれる新型コロナウイルスの対応が可能な設備を整える。

→開設予定時期

- 令和2年12月 開設予定

→修繕期間

- 令和2年10月末～12月中旬(見込み)
※修繕期間中の発熱外来は継続して実施いたします。
※期間中に完成した区画は順次運用を開始予定です。

設備充実のポイント①

→新型コロナウイルス検査区画としての機能改善

- 診察スペース等の増設
- 新型コロナウイルス検査区画の増設

※現状、待合スペースとして臨時テント(左図)を設置していますが、この区画内に待合室・診察室の2区画を増設(右図は修繕作業中の写真)します。



設備充実のポイント②

→ 今後見込まれる患者増への環境整備

- 区画内の風雨、暑熱寒冷、換気対策の環境整備
 - 障害者、および高齢者対応のためのバリアフリー化
- ※現状の発熱外来棟(下左図)では区画内通路に屋根を設置。
※室内に入る際の段差(下右図)を解消するための高上げ床を設置予定。



Topics

4.



日野市児童育成手当受給世帯に 対する臨時特別給付金

問い合わせ先 子育て課



4. 日野市児童育成手当受給世帯に対する臨時特別給付金

児童育成手当受給世帯へ臨時特別給付金を支給

① 基本給付

対象者1人につき**1万円**

② 受験生支援給付

中学3年生相当もしくは高校3年生相当の子1人につき**5万円**

→①・②の給付金を令和2年12月下旬頃に支給します

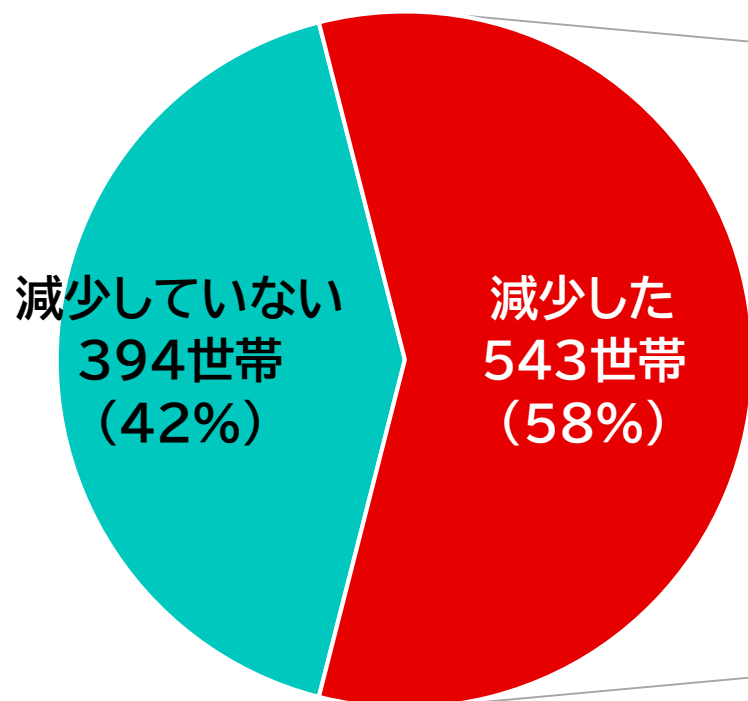
4. 日野市児童育成手当受給世帯に対する臨時特別給付金

新型コロナウイルスに関する実態調査

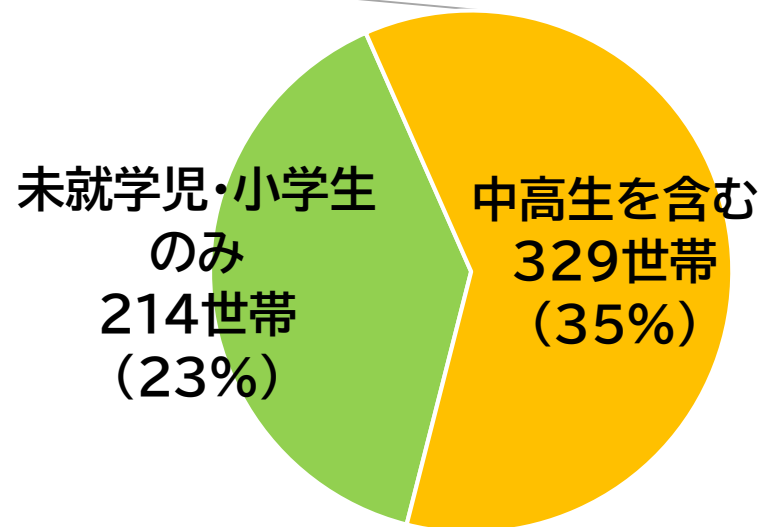
新型コロナウイルスの影響による収入減少の実態

対象：児童扶養手当受給世帯(937世帯)

調査期間：令和2年8月1日～令和2年9月10日



【収入減少の有無について】



【収入が減少した世帯の構成】

受験期にかかる費用

受験期には、**授業料以外にも様々な費用が必要**となる

- 受験料
- 入学金
(大学の場合、入学しない場合も返金不可)
- 塾・予備校代
- 教材費、模擬試験受験料、交通費、修学旅行費 など

実態調査の結果から見える現状

- ➡ 収入が減少したことにより、生活費に不安を感じているひとり親世帯が多数
 - 子どもの休校に伴う食費・光熱費の増加
 - 子どもの教育費が負担となり、生活費が圧迫されている
 - 1) 子どもの学費の支払い 2) 子どもの進学に向けた費用
- ➡ 収入が減少した世帯、受験期を迎える学生がいる世帯へ幅広く支援をしていくことが必要

4. 日野市児童育成手当受給世帯に対する臨時特別給付金

対象・給付額・支給時期

【対象】

①基本給付:

令和2年11月分の児童育成手当が支給される世帯

②受験生支援給付:

①のうち、中学3年生相当もしくは高校3年生相当の子がいる世帯

【給付額】

①対象者1人につき1万円

②対象者1人につき5万円

【支給時期】

令和2年12月下旬頃を予定

日野市 定例記者会見

